



巻頭言

## 新しい技術開発への挑戦

副社長 位 高光 司

現在は、国内外を問わずまさに社会・経済システムの面において、数十年に一度の大改革の時代を迎えていると言われており、それに伴って当社をとりまく事業環境も数年前には予想もできなかったほど、大きく変化しております。

当社の事業構造を顧りみますと、戦後は電力系統用のコンデンサを中心にした時代があり、その後GISなどの受変電機器が加わりましたが、一貫して静止型重電機器を主力製品としてきました。しかしこれらは、電力自由化に伴う電力会社殿の設備投資削減や、長引く不況による民間設備投資削減の影響をまともに受け、非常に厳しい状況に置かれております。

一方、電力システム・機器を通して培ってきたエレクトロニクスやコンピュータシステム技術は成長して、現在では当社主力事業の一角を担うまでとなっております。

当社は、創業以来「優れた技術・製品による社会への貢献」を経営理念とし、「新しい技術開発への挑戦」を行うことにより、独自技術の開発やすぐれた製品の供給に努めて参りました。

供給すべきシステム、製品にはコスト競争力が何よりも求められ、また悪化する一方の地球環境にも配慮する必要があるこの時代には、いま一度この「新しい技術開発への挑戦」を思い直す必要があると考えております。

幸い当社には、このような時代を予期し、あるいは時代の要請に則って育んできた新しい技術があり、今回の「日新電機技報」では、このうちの新エネルギーシステム、あるいは情報通信システムなど

の、これからの時代にふさわしいテーマに関する開発成果のいくつかをご報告させていただきます。

皆様方の忌憚のないご意見，ご指導をいただけますことをお願いいたしますとともに，今後とも一層のご支援，ご協力をお願い申し上げます。

最後に，「日新電機技報」につきましても，21世紀に向けて，ご覧いただく方にわかりやすく，有益な情報をご提供する資料となるよう検討していく所存ですので，今後ともよろしくお願い申し上げます。